

# スバルが生んだぶつからない技術

開発20年「アイサイト」安全と快適の追求

2013年2月24日  
テレビ東京

昨今、クルマの先進技術の中で普及が目覚ましい「プリクラッシュセーフティシステム」。

車内に搭載したカメラやレーダーなどで先行車や歩行者、障害物を感知し、衝突に備える機能だ。

これには技術者達の多大な努力が払われ実現に至っているが、  
とりわけ SUBARU の先進運転支援システム「アイサイト」は  
“事故を起こさない”ための様々な機能が備わっており、利用者からの信頼も厚い。

また、他車システムよりも高い知名度を誇り、SUBARU 車の販売台数の押し上げにも大きく貢献しているようだ。

スバルのアイサイトは、以下の4機能で構成されます。

- 1、ぶつからない技術(プリクラッシュブレーキ)
- 2、ついていく技術(全車速追従機能付きクルーズコントロール)
- 3、飛びださない技術(AT誤発進抑制制御)
- 4、注意してくれる技術(警報&お知らせ機能)

前のクルマに接近しすぎたり、歩行者や自転車を見落として、  
あわや衝突事故！

危険を予測し、衝突を回避するプリクラッシュブレーキは、そんな「ヒヤリ！」の瞬間を「安心」に変えてくれます。

ステレオカメラが常に前方を監視し、クルマへの追突や歩行者などに対して衝突の可能性が高いとシステムが判断すると、警報音と警告表示でドライバーに注意を喚起。

さらに衝突回避のための操作がされなければ、自動ブレーキをかけて衝突を回避、もしくは被害の軽減を図ります。

また衝突の可能性が高い時(警報ブレーキ作動時)にブレーキを踏むと、ブレーキアシストが作動し制動力を高めます。

低速走行から高速走行まで、幅位広い速度域で機能します。  
車両以外にも、人や自転車も制御対象として認識します。  
30km/h以下であれば衝突を回避してくれます。



街中での障害物の認識イメージ